

化学療法予定患者の処方漏れを事前に回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、化学療法予定患者の処方切れを事前に情報提供することで処方漏れを回避し、薬物治療効果の向上に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶原疾患に対し化学療法目的で来院された患者

【外来注射（抜粋）】

ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL 1 本
4 週間に 1 回、皮下投与



H さん

化学療法予定の H さんに、次回のランマークの処方が入っていない。4 週間に 1 回投与する薬剤なので、処方漏れにならないように早めに確認しておこう。

化学療法を予定されている H さんに対し、4 週間に 1 回で投与を継続しているランマークについて、次回投与分の処方が入っておりません。投与継続でお間違えなければ、処方をお願いします。

ありがとうございます。投与は継続するので、処方しておきます。



医師



薬剤師

確認後、速やかにランマークが処方され、投与を継続できた。
化学療法予定患者の処方切れを事前に情報提供することで処方漏れを回避し、薬物治療効果の向上に貢献できた。